

高瀬神社 社報

越中一宮

第10号

平成18年7月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影 南部写真館 南部 栄氏

社頭講話

自然の教え「水から学ぶ」

宮司 藤井秀弘

中国の古典書の中に「上善如水」という言句があります。「上善は水の如し」と読むのですが、意味を調べると「上善」とは、より理想的な生き方をするということであり、「如水」とは、そういう生き方をしたいのなら「水」に学びなさいということのようです。

それでは、理想的な生き方とはどのような生き方なのか。人それぞれの生き方がありますので、何をもって理想的とするのか明言できませんが、その様な生き方をするための心がけについては、何か共通するものがあるのではないかと思えます。「夢」とか「希望」も各人各様で、人それぞれ異なりますが、それをかなえるための基本的な心がけというものは同じなのではないでしょうか。

そのヒントが「水」にあると、

この言句は教えてくれています。「水」に何を学べばよいのかというと、先ずはその姿だと思えます。水には原形というものがなく、きわめて柔軟で、どんな形の器にも逆らわず、器なりに形を変えて、誠に謙虚であるといえます。そして、自分を主張することなく、自然と低いところを流れて行きます。更に、水は静かな流れの中にも巨大なエネルギーを秘めています。

このような様子からみて、物事を達成するためには、素直な気持ちで、無用な反発をせず、力を入れすぎないで、淡々と事に望むことが大切である。ということ「水」は教えてくれているのだと思います。

私たちの生活という面から「水」を見てみますと、我が富山県は、

立山連峰などの立派な山々のおかげで夏の渇水期にも断水したことなどなく、水で悩んだことはないと思います。悩んだとすれば、県下を流れる河川の洪水だったでしょう。東京や大阪などの大都市や四国地方など常に水不足が心配されている地域に比べますと有り難いことです。

古代中国では「黄河の水を征するものは国を征する」といわれたくらい黄河や揚子江という大河との付き合いは大変でしたので、人々はこの河を恐れました。しかし、同時に敬い、愛しました。これは自分たちの生命に直結する川という自然への畏敬と親しみの念からのことでしょう。我が国の戦国時代の武將「武田信玄」は、信玄堤といわれる工法で国内の治水に成功したことから国民の信頼を受け、安定して国を治めました。このように水（川）と人との生活に思いをめぐらすと数多くの歴史が語られ、昔から我々の生活に水が深く関わっていたことがよくわかります。

大河を見て育った中国人と、小川のせせらぎを聞いて育った

日本人では、考え方や物の見方が違うのは当然です。その土地の自然や風土が人を育てています。しかしながら、自然や風土が教えてくれていることに気がつかなければ、人間らしい理想的な生き方はできないと思います。

故美空ひばりさんの「川の流れるように」という歌がヒットしました。私もあの歌詞のように生きたいと思います。庄川や神通川のような、身近にある川のことを歌っているのでしょうか。特別な川でなくてもじっくりと観察して、自分の人生観に照らし合わせてみると、ただの川も特別の示唆をしてくれる特別な存在になるのです。これは川だけではなく、森羅万象すべてがそういう存在なのですが、それに気がつかないだけのことなのです。

「水」ひとつをとってみても、様々な事柄について教えられるわけですから、これからは、折に触れて自然に親しみ、自然の教えを学んで、自分のより良い理想的な生き方を探し求めていただきたいと思います。

祈年穀祭齋行

六月一〇日午前一〇時より「祈年穀祭」が斎行されました。

このお祭りは、天武天皇の御代、大変な病虫害により農作物に大きな被害が続出するということが度々おこり、勅使を遣わされ、事態の収束と豊作を祈願されたことからはじまりました。

古式にない誘蛾灯となる御神火がともされ、御神前に供えられました。また、砺波地区農業協同組合協議会の佐野俊之会長が参向使として奉仕され、幣帛をお供えして祭詞を奏上されました。

御神火は、鳥居前に準備されたかがり火台に点火され、参列者一同拝礼し、病虫害なく豊作になるよう祈願しました。

また、「根尾宗四郎氏・上田又一氏遺徳顕彰事業」により篤農家の方に表彰状が贈られました。
(農事功労表彰)

勢 藤 毅殿(南砺市久戸)
山 田 博殿(砺波市庄川町)

尚、神輿渡御は二三日に行われ、砺波地区の各農業協同組合を巡幸しました。

(神輿渡御行程)

なんと農業協同組合(南砺市金戸)

福光農業協同組合(南砺市荒木)

いなば農業協同組合(小矢部市石動)

となみ野農業協同組合(砺波市宮沢町)



祭 事 暦

七月一六日	人形感謝祭	古くなつた人形やぬいぐるみに感謝し、お炊き上げ(焼納)するお祭りです ※人形展も開催されます (二五日～一七日)
七月二二日	除熱祭	日照りなどによる被害無く、水稻や畑作物がすくすくと育つようお祈りするお祭りです
八月一六日	中禮祭	一年の半ばが無事過ぎたことに感謝するお祭りです
九月一三日	例祭	一年に一度、当社のご縁日に執り行う一番重要なお祭りです
九月二二日	秋季皇霊祭	秋分の日には皇祖皇宗をはじめ各家々の祖先を偲び、感謝するお祭りです
毎月一日 一三日	月次祭 交通安全祈願祭	国の隆昌と皇室の弥栄、氏子・崇敬者の幸福をお祈りするお祭りです

社のおこわい

富山県神社庁主催
「第一回教養研修会」のこと

富山県神社庁研修所主催の「第一回教養研修会」が去る四月八日、約五〇名の参加者により参集殿を主会場に開催されました。「社叢の植生について―台風・害虫被害からの復興―」と題し、柏樹直樹氏（砺波カイニョ倶楽部代表幹事）の講義と実地研修が行われました。参加者は作業着姿で境内に出て植え方や樹種について勉強しました。



駐車場整備のこと

三月より進めてまいりました駐車場第一期工事が完了し七月一日より使用が開始されました。

ご利用下さい。舗装工事(第二期工事)は来年春頃を予定しています。



社務所改装のこと

今般、長年の老朽化のため傷んだ社務所授与所及び事務室が改装されました。授与品台などが新調され、装いも新たにになりました。



献穀田だより

「御田植祭」斎行



井波地域中核農業士協議会（金田久志会長）による献穀田のお田植祭が、去る五月二一日、南砺市岩屋の岩崎宏志氏（本年奉耕者）の水田で斎行されました。

天候にも恵まれ、関係者六〇名が参集し、五名の早乙女によりコシヒカリの苗が丁寧

に植えられました。

九月中旬の「抜穂祭」で収穫される稲は御神前にお供えられるほか、伊勢神宮へ奉獻されることになっております。

◇本年早乙女奉仕者

- 岩崎裕香さん(井波中学二年)
 - 中山茉耶さん(井波中学二年)
 - 高桑田圭さん(井波中学二年)
 - 畑 詩織さん(井波中学二年)
 - 崎田弥生さん(井波中学二年)
- ご奉仕ご苦労さまでした。



諸祭事のこと

牛岳開山祭・例祭

御神山の「牛岳」(標高九八七m)の開山祭が、去る五月二一日に、また例祭が六月六日に山頂の奥宮で斎行されました。

山頂には老若男女約三〇〇名が参列しました。

山頂付近には、今年の大雪の影響で例年に無い残雪がありました。山々の積雪はこの地方の水田を潤していることから、参列者は登山の安全にあわせて豊作も祈りました。



八乙女山開山祭

「八乙女山」(標高七五六m)の山頂に鎮まります「風神堂」の例祭が、去る六月四日に斎行され、神職と巫女が御奉仕しました。



約一〇〇名の参列者は春と秋に吹き荒れる当地方特有の大風による風災が無く、無事過ごせるよう祈りました。祭典後、八乙女風神太鼓による奉納演奏もありました。



参拜日誌抄

(敬称略)

(平成一八年三月〜五月)

「三月」

- 一三日 厳島神社 権宮司 野坂元明
- 福井縣護國神社 禰宜 宮川貴文

「四月」

- 八日 富山県神社庁第一回教養研修会 氏子清掃奉仕(村総出)
- 高瀬地区老人クラブ連合会 (金婚奉生忌祭) (清掃奉仕)
- 一三日 立正佼成会(清掃奉仕)
- 一六日 七尾市宝生流橘宝会 一七名
- 一七日 献茶奉賛会役員会 一五名
- 二七日 パルスエンジニアリング(株)

「五月」

- 十日 神社庁東西砺波支部役員会
- (創立記念日奉告参拝)

一三日

立正佼成会(清掃奉仕)

一五日

笠松八幡宮氏子総代会 三三名

一八日

庄川SC安全協議会 三二名

「奉納」

○境内参道玉砂利舗設

砺波市庄川町金屋

(株)川上建設

代表 川上光泉殿

平成一八年四月二六日



結婚式場たより

《ブライダル相談会》

(七月) 八日(土)

九日(日)

一〇日(月)

(八月) 五日(土)

六日(日)

七日(月)

(九月) 二日(土)

三日(日)

四日(月)

午前九時～

午後五時の間、お

見積相談や神殿・

会場見学などを

ご希望に応じてお

相談いたします。

おります。どうぞ

お気軽にお立ち

寄り下さい。

(担当：黒田)



★ご成約の方にブライダルエステ

割引券をプレゼント！

《和装体験フェア》

・八月二〇日(日)

・午前一〇時～午後四時

和装試着及びひかつら合わせ体験で、

「和」の魅力満載

ご結婚おめでとうございます

昨年一二月から本年五月まで御婚礼の御儀を執り行われた皆様です。(挙式日、時間順)

(二月)

四日 竹平 鉄次様

一日 中橋 眞希子様

黒河 沙羅博様

二三日 安田 尚義様

(二月) 二三日 久恵 洋平様

五日 長谷川 鉄也様

一日 藤井 祐美様

野澤 梨絵様

一九日 三谷 尚樹様

二六日 吉藤 千香様

竹田 夕弘様

二六日 小憲 瑞成様

一八日 波能 治男様

二二日 山田 俊影様

二五日 下田 浩治様

清都 知栄子様

(四月) 一五日 佐藤 秀治様

一六日 武田 千春様

二二日 鈴木 浩様

二九日 山田 千佳様

平崎 千晴様

(五月) 七日 堀秀春様

二〇日 長澤 貴代様

二二日 頼所 仁美様

二七日 溝口 善枝様

須河 尚喜様

ご新郎ご新婦の末永いご多幸とご両家益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

御案内

「例祭」

九月二三日(水)

午前一〇時より齋行

※御本社につづき功靈殿大祭を齋行いたします。
皆様おそろいでご参拝下さい。

「第三三回献茶式」

一〇月八日(日)

午前一二時齋行

神前にて裏千家金沢宗維業躰による奉茶が行われます。

(呈茶席・二席)

午前八時～午後三時受付

(茶席当番)

裏千家流

(茶券)

一枚三千円(短冊・点心付)

「第四回奉納剣道大会」

九月一八日(月)

午前九時より

奉告祭ののち、境内前庭にて開催。

砺波地区内の小中学生・高校生剣士の熱戦が展開されます。応援をお願いします。

「私たちの人生儀礼」

御家族おそろいでおまいりしましょう。

「元服祝(男子)」

一五歳(平成四年生)

元服とは、一人前の男として重要な責任と義務を負い、社会の仲間入りを果たす年齢を意味します。強い身体と精神力を持った「益荒男」として雄々しく男らしく成長してほしいと祈る人生儀礼です。

「髪上祝(女子)」

一三歳(平成六年生)

髪上とは、古来より神社へ詣で初めて「かんざし」を髪にあてる儀式を行っておりました。「大和撫子」と日本女性を称

えてきた言葉が示すように、心清らかで勇氣・機転・情愛を持ちあわせた大人の女性に成長してほしいと祈る人生儀礼です。

「戌の日」(七月～十二月)

(七月) 八日(土・赤口)

二〇日(木・赤口)

(八月) 一日(火・友引)

一三日(日・友引)

二五日(金・友引)

(九月) 六日(水・友引)

一八日(祝・友引)

三〇日(土・仏滅)

(一〇月) 一二日(木・仏滅)

二四日(火・大安)

(一一月) 五日(日・大安)

一七日(金・大安)

二九日(水・赤口)

(一二月) 一日(月・赤口)

二三日(祝・友引)

安産を祈り、家族一同でお参りしましょう。

腹帯のお祓いも行いますのでご持参下さい。

家内安全・交通安全・初宮詣・

安産祈願・厄除・人生儀礼など「御祈禱」は毎日午前八時三〇分より午後四時三〇分まで随時受け付けております。

祭典・結婚式等で御奉仕できない時間帯もありますので、事前に社務所までおたずね下さい。

編集後記

九州沖縄地方で大雨により被害に遭われた方々に、衷心よりお見舞いを申し上げます。皮肉にも、当地方は空梅雨で、境内の樹木もなんとなく元気がなさそうに感じます。

境内西側に、念願の駐車場が整備されました。特にお正月の渋滞の緩和をはじめご参拝の方には、ご足労なくお参りいただけるようになりました。どうぞご利用下さい。



【表紙写真】

「花菖蒲」

六月二四・二五日の両日、高瀬遺跡において開催された「第三三回高瀬遺跡菖蒲まつり」の際に撮影。

発行日 平成十八年七月一日
発行所 越中一宮 高瀬神社社務所 〒九三三ア〇二五二 富山県南砺市高瀬二九二
TEL〇七六三三八ア〇九三二 FAX〇七六三八ア三三〇四
編集人 浦 泰 宏
印刷所 牧印刷株式会社



時を超えて結びあう



私だけのロイヤルウェディング《雅美》

人生の通過儀礼のなかで最も華やかで美しい装いの十二単

挙式・衣裳・着付・写真付
630,000円

30名様パック

868,000円

挙式料・介添・会場費・カラーコーディネート料・音響・記念帳
招待状・席順表・料理・飲み物・ケーキ・装花一式・チェアドレス
写真(2ポーズ、アルバム2冊)
衣裳(紋付一式、白無垢一式)
美粧(着付一式)
追加料金 お一人様 16,800円

50名様パック

1,285,000円

挙式料・介添・会場費・カラーコーディネート料・司会・音響・記念帳・
招待状・席順表・料理・飲み物・ケーキ・装花一式・チェアドレス
写真(2ポーズ、アルバム2冊)
衣裳(紋付一式、白無垢一式)
美粧(着付一式)
追加料金 お一人様 17,850円



FOR YOU FOREVER.

● 貴方だけのブライダルリング
ブライダル・ギフト ●



WEDDING RING FORGING
いつも、そしていつまでも...

夢・そしてときめいて...
あづちや
かがやきそえて ー 宝石・時計・メガネ・記念品・修理 ー
南砺市本町(井波) TEL(0763)82-0366